



2026年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 名古屋銀行
 代表者名 取締役頭取 藤原 一朗
 (コード番号:8522 東証プライム・名証プレミア)
 問合せ先 常務執行役員経営企画部長 飯田 篤
 (TEL. 052-951-5911)

第22次経営計画「財務」中間目標および「非財務」2030年度目標の一部見直しに関するお知らせ

当行は、本日開催の取締役会にて、第22次経営計画の「財務」中間目標および「非財務」2030年度目標の一部見直しを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 変更内容

○2027年度「財務」中間目標

	変更前	変更後
当期純利益(連結)	200億円	280億円
ROE(連結) [※]	6%超	8%超
コアOHR	50%台	変更なし
預貸和	10兆円	変更なし

※東証基準

○2030年度「財務」目標

	変更前	変更後
政策投資株式縮減	連結純資産に占める政策投資株式とみなし保有株式の合計額(時価ベース)の割合20%未満	変更なし

○「非財務」2030年度目標

	変更前	変更後
女性配置率 ^{※1}	100%	変更なし
ワークエンゲージメント ^{※2}	3.60	変更なし
クロスキャリア比率 ^{※3}	80%	変更なし
ESG投融資額(2030年度までの10年間累積実行額)	5,000億円	1兆円
CO2排出量(2013年度対比)	▲70%	変更なし

※1 本部・営業店の管理職およびグループの中で女性が複数名在籍している比率

※2 ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度の「活力」「熱意」「没頭」の平均値

※3 11~20年目行員のうち複数の職種、当行以外の業務等を経験した比率

2. 変更理由

当行は、2023年3月に第22次経営計画「未来創造業の真価の発揮」(2023年4月~2031年3月)を策定し、2030年ビジョン「お客さまとともに成長する地域No.1金融グループ」の実現に向けて取り組んでおります。

「財務」中間目標については2025年5月に見直しを実施いたしましたが、その後、金融政策の転換等を背景に経営環境が大きく変化したことから、見直し後に設定した当期純利益（連結）およびROE（連結）の目標を、いずれも早期達成いたしました。

また、「非財務」2030年度目標につきましても、ESG投融資が順調に進捗した結果、ESG投融資額の目標を早期に達成いたしました。

こうした状況を踏まえ、成長に向けた戦略的投資の柔軟性を確保するとともに、企業価値のさらなる向上を目指すために、2027年度「財務」中間目標および「非財務」2030年度目標の一部を変更することといたしました。今後は、新たな目標の達成を通じて、地域経済への貢献に努めてまいります。

以 上

第22次経営計画 「財務」中間目標の見直し

お客さまとともに成長する地域No.1金融グループ

2026年5月12日

1. 「財務」中間目標の見直し〈上方修正〉
2. 当期純利益（連結）・ROE（連結）の推移
3. 「非財務」目標の見直し〈上方修正〉
4. 第22次経営計画 計数目標

【参考】第22次経営計画の概要

1. 「財務」中間目標の見直し<上方修正>

	2027年度目標 見直し前	2027年度目標 見直し後	増減	<参考> 2025年度実績
当期純利益（連結）	200億円	280億円	+80億円	202億円
ROE（連結）（東証基準）	6%超	8%超	+2.0P	6.86%
コアOHR	50%台	50%台	変更なし	49.4%
預貸和（預金等※+貸出金）	10兆円	10兆円	変更なし	9.8兆円

※預金等 = 預金 + 譲渡性預金

当期純利益（連結） > 2025年度実績202億円と、前倒しで目標を達成したため見直しを実施

ROE（連結） > 2025年度実績6.86%と、前倒しで目標を達成したため見直しを実施

【参考】
2025年11月公表

2027年度目標
見直し前

2030年度目標
見直し後

上場政策株式縮減
（取得原価ベース）

連結純資産に占める
政策投資株式と
みなし保有株式の合計額
（時価ベース）の割合

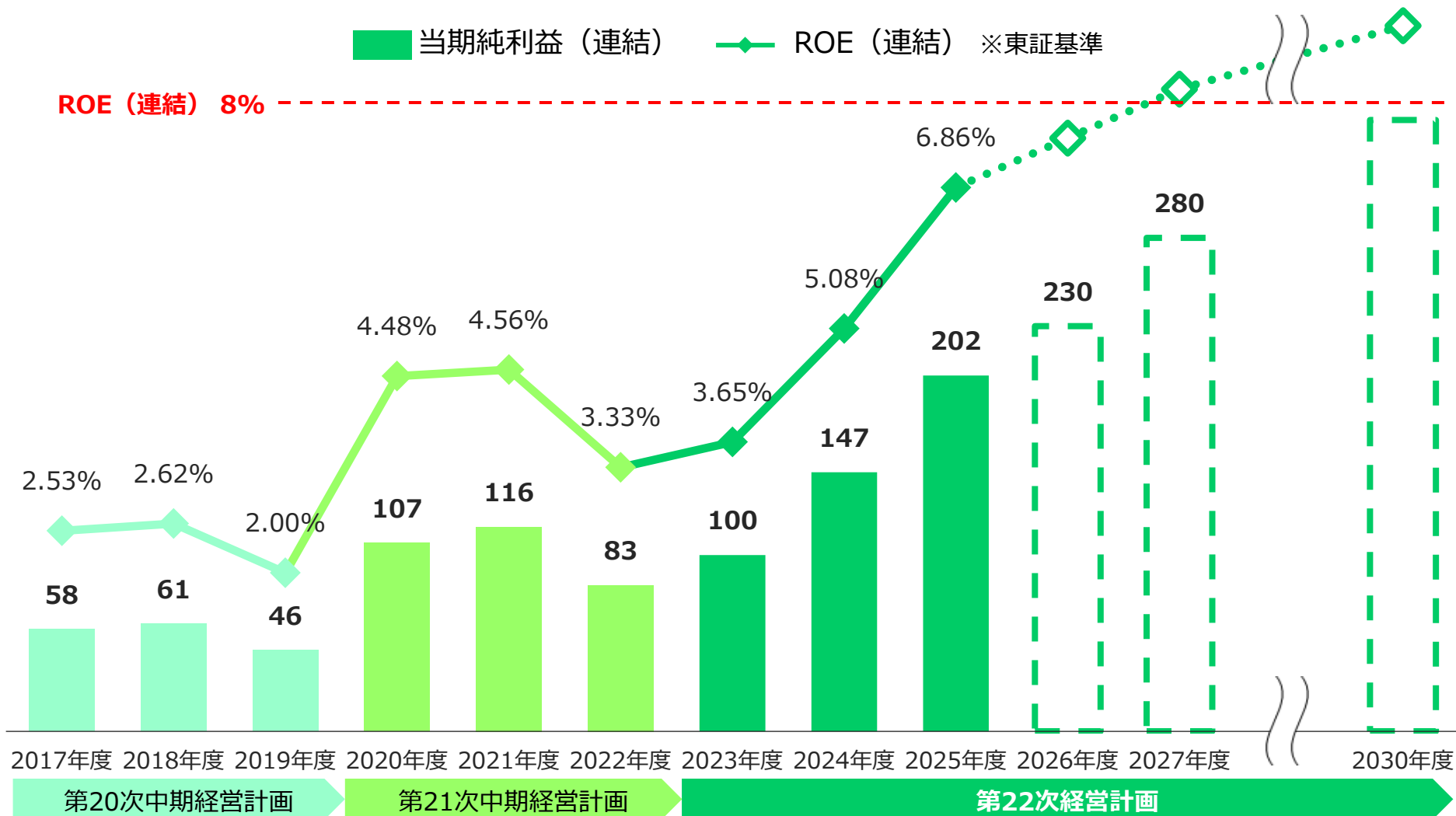
政策投資株式縮減

> 2022年度末比30%(124億円)
> 時価ベースの単体純資産比率は
50%を十分に下回る水準

20%未滿

2. 当期純利益（連結）・ROE（連結）の推移

単位：億円



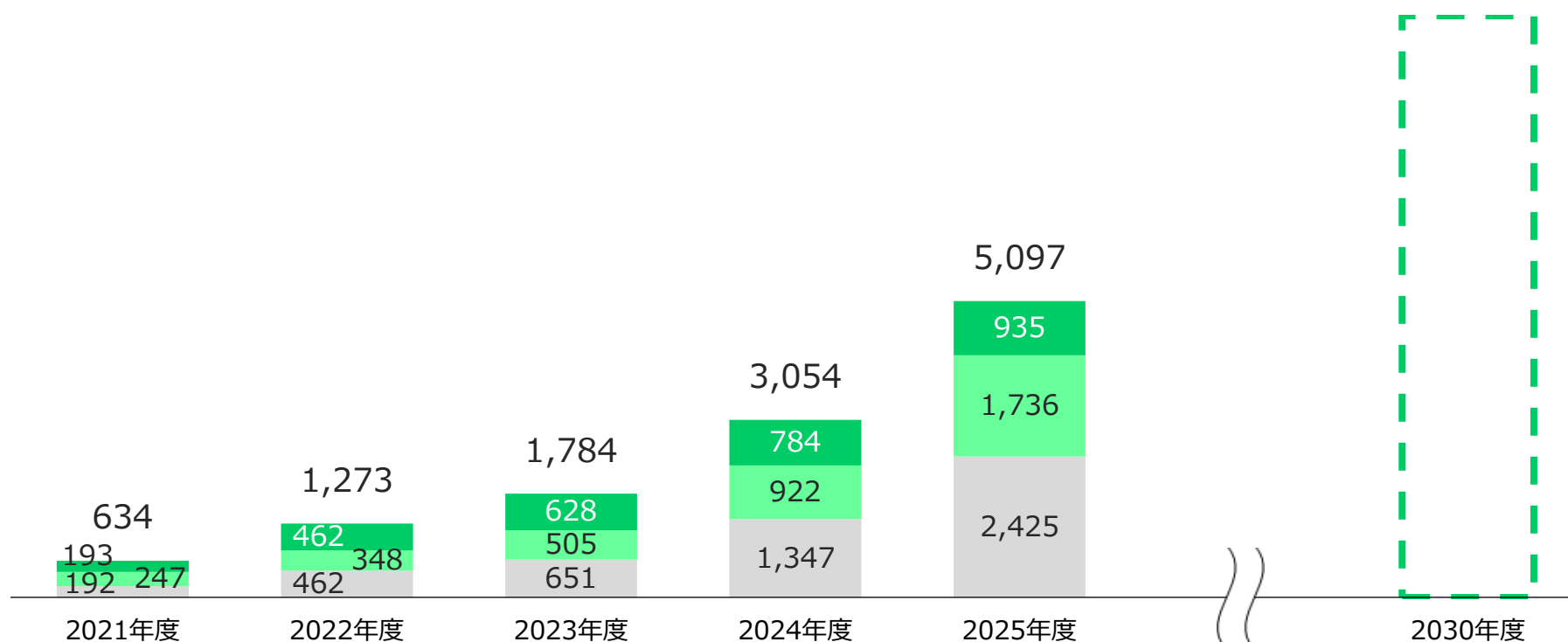
3. 「非財務」目標の見直し<上方修正>

	2030年度目標 見直し前	2030年度目標 見直し後	増減	<参考> 2025年度実績
ESG投融資額 (2030年度までの10年間累積実行額)	5,000億円	1兆円	+5,000億円	5,097億円

➤2025年度累計実績5,097億円と前倒しで目標を達成したため、目標および基準の見直しを実施

<ESG投融資額の推移>

■ 寄贈型私募債等 ■ ESG債 ■ サステナブル関連 単位：億円



<2027年度「財務」中間目標>

	2022年度 実績	2025年度 実績	2027年度 目標
当期純利益(連結)	83億円	202億円	280億円
ROE(連結) (東証基準)	3.33%	6.86%	8%超
コアOHR	70.4%	49.4%	50%台
預貸和 (預金等※+貸出金)	7.9兆円	9.8兆円	10兆円

※ 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

<2030年度「財務」目標>

	2022年度 実績	2025年度 実績	2030年度 目標
連結純資産に占める政策投資株式と みなし保有株式の合計額 (時価ベース) の割合※	52.3%	25.0%	20%未満

※ 2025年11月に達成期限、達成基準、対象株式等を見直し

<「非財務」2030年度目標>

	2022年度 実績	2025年度 実績	2030年度 目標
女性配置率※1	82.7%	94.4%	100%
ワークエンゲージメント※2	3.08	3.59	3.60
クロスキャリア比率※3	44.6%	76.7%	80%
ESG投融资額 (2030年度までの10年間累積実行額)	1,273億円	5,097億円	1兆円
CO ₂ 排出量 (2013年度対比)	▲42%	(集計中)	▲70%

※1 本部・営業店の管理職およびグループの中で女性が複数名在籍している比率

※2 コトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度の「活力」「熱意」「没頭」の平均値

※3 11~20年目行員のうち複数の職種、当行以外の業務等を経験した比率

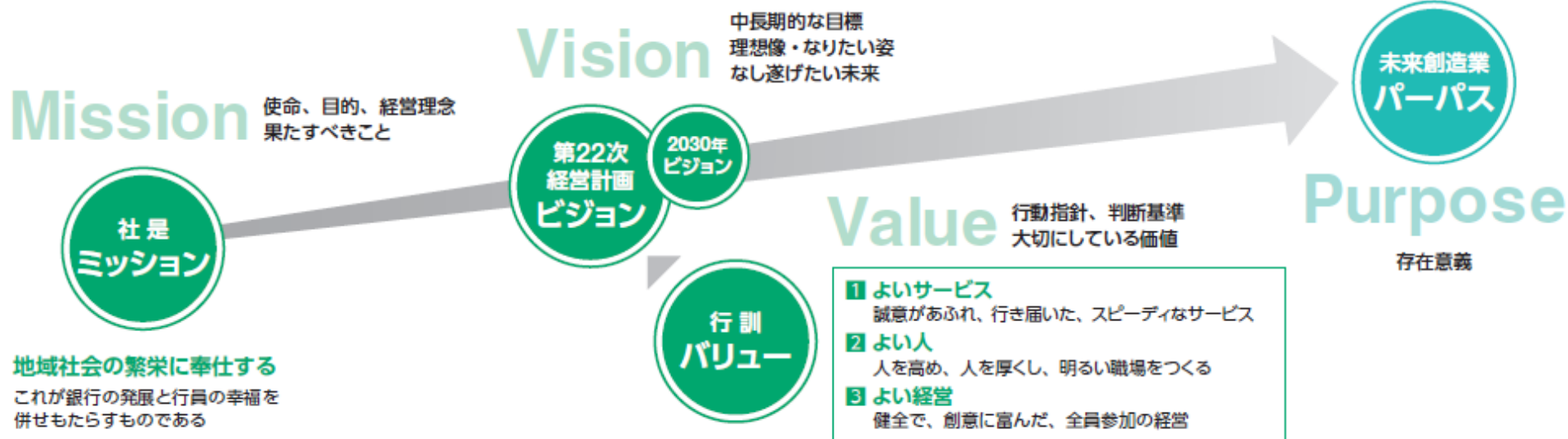
Purpose & Mission / Vision / Value

未来創造業宣言

私たちは「未来創造業」です。

私たちは、
法人のお客さまと **会社の発展につながる未来** を創ります。
個人のお客さまと **家族の幸せにつながる未来** を創ります。
そして、私たちはお客さまと自分の未来のために一生懸命に仕事をします。

銀行業から未来創造業へ 私たちは歩み続けます



2030年ビジョン（2031年3月のありたい姿）

お客さまとともに成長する地域 No.1 金融グループ



サステナビリティ



人的資本戦略

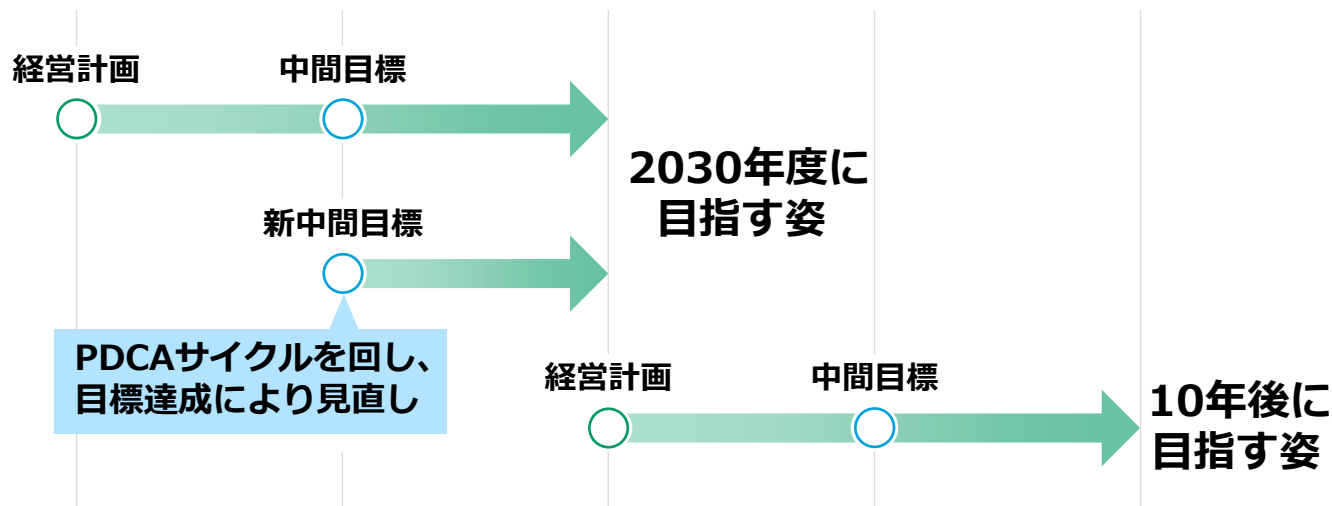
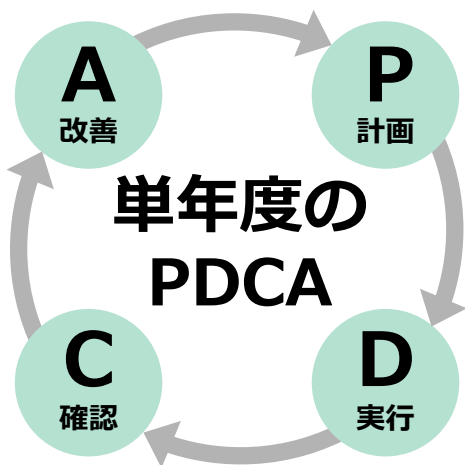


DX戦略

経営計画のブラッシュアップ

毎年のIRで、実績、進捗状況を報告

中間目標の達成により、新たな目標に再設定





名古屋銀行

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは
下記担当までお願いいたします。

株式会社名古屋銀行
経営企画部 広報グループ

TEL: (052)962-7996

FAX: (052)962-1843

E-Mail: ir_info@ex.meigin.co.jp

URL: <https://www.meigin.com/>

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
 - 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は経営環境の変化等に伴い、目標対比変化し得ることにご留意ください。
- ※本資料の金額などは原則として単位未満を切り捨てしております。